

スピード

成年男子 山本（八戸市協）表彰台狙う

成年女子 木村（八学）、大岩（プライ）入賞目指す



木村咲映
（八学大）

【スピードスケート】八戸市スケート協会が表

成年男子は山本大史（八戸市協）が表彰台を目指す。1500メートルでは2021年岐阜大会で準優勝、22年栃木大会で4位と実績十分。昨年12月の全日本選手権では1000メートルと好成績を収めた。今回の地元大会に照準を合わせて練習に励んでおり、両種目で優勝を狙う。

少年は男子長距離の佐々木海地（八戸西高）、女子中距離の根城理実（同）が入賞を逃した先の伊香保インターハイの雪辱に燃える。前回大会では佐々木が5000メートル、根城が3000メートル、沢野心悠（同）が1000メートルいずれも8位に入賞しており、2大会連続の入賞の期待がかかる。少年女子では、短距離の石岡文那（下長中）、中距離の吉田愛実（同）の中学生2人が高校生に交じって力試しする。来月初めの全国中学校大会に弾みをつけられるか。

インターハイの雪辱へ

少年男子 佐々木（八戸西高）、少年女子 根城（八戸西高）

冬季八戸国体県勢3競技展望



特別国体冬季大会スケート・アイスホッケー競技会は28日から2月5日までの9日間、八戸市・南部町を舞台に行われる。スピード（30日〜2月2日）はYSアリーナ八戸、フィギュア（28〜31日）はフラット八戸、ショートトラック（28、29日）がテクノルアイスパーク八戸、アイスホッケー（2月1〜5日）はテクノルアイスパーク八戸、フラット八戸、ふちちアイスアリーナが会場。青森県勢はショートトラックを除く3競技に選手、役員87人が参加し、全国の精鋭に挑む。県勢の行方を展望する。

（取材班）

【12面に関連記事】